

令和4年度事業報告書

I. 法人の概要

□教育方針

教育方針

使 命
生徒に夢と希望を与え、生きる力を育み
「自立した、社会に
貢献できる女性を育てる」

スローガン
The Creation of Character
個性創造
— Change for the Better —

重点目標

- ① 基礎学力の向上
- ② 女性としての教養と
マナーの習得

やればできるは魔法の言葉
自分サイズの未来を拓く
チャンス・メーカー 好文学園

学校長 延原 観司

□学校法人の沿革

昭和 12 年 2 月(1937)	大阪商科女学校として大阪市福島区上福島西通に、実業家・臼谷吉五郎が私財を投入して創設
昭和 12 年 4 月(1937)	創立
昭和 19 年 3 月(1944)	文部省中学校令により財団法人設立許可、大阪福島女子商業学校と改称(修業年限 4 ヶ年)
昭和 22 年 3 月(1947)	中学校令改正により修業年限 5 ヶ年となる
昭和 23 年 4 月(1948)	学制改革により新制高校大阪福島高等学校となる
昭和 25 年 3 月(1950)	大阪工業高等学校(定時制)を併設
昭和 26 年 3 月(1951)	新法令による学校法人大阪福島学園認可
昭和 33 年 1 月(1958)	校舎類焼、現在地へ移転
昭和 35 年 4 月(1960)	大阪福島女子高等学校と改称
昭和 42 年 11 月(1967)	創立 30 周年記念式典を挙行
昭和 48 年 4 月(1973)	普通科併設
昭和 49 年 3 月(1974)	別館 1 号増築竣工
昭和 52 年 4 月(1977)	創立 40 周年記念式典を挙行
昭和 54 年 4 月(1979)	第 2 体育館竣工、テニスコート 2 面完成
昭和 60 年 3 月(1985)	別館 2 号竣工
昭和 62 年 4 月(1987)	商業科情報処理コース、普通科特進コース設置
昭和 62 年 6 月(1987)	別館 3 号竣工
昭和 62 年 6 月(1987)	創立 50 周年記念式典を挙行
平成元年 8 月(1989)	ホームステイ(アメリカ合衆国ユタ州)実施
平成元年 10 月(1989)	全国私学教育研究集会大阪大会商業分科会開催
平成 6 年 4 月(1994)	別館 4 号竣工
平成 7 年 8 月(1995)	弓道部インターハイ女子団体初優勝
平成 8 年 4 月(1996)	PLC アーミディル校姉妹校提携(オーストラリア)
平成 11 年 4 月(1999)	ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科に学科改変
平成 13 年 3 月(2001)	カナダ語学研修旅行実施(以降定期的に実施)
平成 14 年 4 月(2002)	情報ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科(総合コース・英会話コース・デザイン美術コース)に学科改変
平成 16 年 4 月(2004)	普通科に体育コース・保育コース設置
平成 18 年 4 月(2006)	情報ビジネス科募集停止 普通科に情報コミュニケーションコース設置
平成 19 年 4 月(2007)	創立 70 周年 マンガ・アニメーションコース設置
平成 20 年 4 月(2008)	好文学園女子高等学校に改称 特進選抜コース、標準進学コース、総合選択コース、IT ライセンスコース設置
平成 20 年 9 月(2008)	新校舎竣工

平成 21 年 1 月(2009)	耐震化工事実施
平成 21 年 4 月(2009)	校庭の芝生化を実施
平成 21 年 4 月(2009)	変形労働時間制の導入と 36 協定一部締結、及び人事考課制度の実施
平成 22 年 4 月(2011)	36 協定全面締結
平成 24 年 4 月(2012)	財政改革 5 ヵ年計画(好文リバイバルプラン)スタート
平成 26 年 4 月(2014)	看護医療系進学コース設置
平成 28 年 3 月(2016)	学校隣接土地取得
平成 29 年 4 月(2017)	創立 80 周年祝賀会を挙げる
平成 30 年 4 月(2018)	体育館、美術棟着工(新校舎)
平成 30 年 7 月(2018)	学校隣接土地建物取得
令和 元年 9 月(2019)	新校舎A3(体育館・美術棟)竣工
令和 2 年 5 月(2020)	テニスコート改修、クラブハウス竣工
令和 3 年 4 月(2021)	コース再編、「3 エリア 9 コース制」へ (総合進学エリア) 特別進学、進学アドバンス、進学フロンティア コース (キャリア進学エリア) 看護医療系進学、幼児教育、ITライセンス コース (メディア芸術エリア) メディアクリエイター、デザイン美術、マンガ・アニメーション コース

□設置学科と定員（令和4年5月1日現在）

科・コース	入学定員	収容定員	現員
全日制 普通科 9コース(※)	300名	1,200名	804名

※ 特別進学、進学アドバンス、進学フロンティア、看護医療系進学、IT ライセンス、
メディアクリエイター、デザイン美術イラスト、マンガ・アニメーション
〈標準進学(Ⅰ類・Ⅱ類)、スポーツ健康〉

□役員概要（令和4年4月1日現在）

役員の定数 理事:5人以上9人以内、監事:2人以上4人以内 現員は以下の通りである。

理事長	延原 観司
理事	花田 守
理事	濱田 雄久(非常勤)
理事	福井 要 (非常勤)
理事	溝畑 博稔(非常勤)
理事	湯朝 哲朗(非常勤)
理事	坂根 友子(非常勤)
監事	一瀬 満子(非常勤)
監事	向 明美(非常勤)

□評議員の概要（令和4年4月1日現在）

評議員の定数は、12名以上23名であり、現員は18名である。

□教職員の概要（令和4年4月1日現在）

専任教員	専任職員	非常勤教員等	教職員合計
29名	3名	43名	75名

Ⅱ. 事業の概要

□法人運営

① 収支均衡バランス

令和2年度に「新校舎棟整備事業」が完了し、令和4年度について令和3年度に引続き収支均衡のバランスを考慮し支出を抑制した態勢がとれた。

資金収支については、入学生が287名と前年比34名と減少し、在籍者数は804名と前年比11名減でのスタートとなったが、先行きを考慮し前年に引続き一時金の抑制及び経費の圧縮に努め、次年度繰越資金799百万円を確保した。

生徒数の一定の確保により、必要なる施設設備を除き、収支均衡で支出を抑制したバランスの取れる態勢を作っていく。

② 施設・設備の充実等

- ・別館3号6階 情報教室の改修を行った。
- ・別館3号6階 情報教室の生徒用PC43台、プロジェクター1台、サーバー2台の更新を行った。
- ・教職員用サーバーの全面的に入替えを行った。
- ・別館3号エレベーター2基の改修を行った。
- ・セミナーハウス2階の改修と別館2号との渡り廊下の設置を行った。
- ・本館2～4階廊下壁、共用部(階段手すり等)塗装工事を行った。
- ・事務室、入試広報室の空調(ガス)の更新を行った。
- ・感染症対策として、サーキュレーター26台設置した。

③ 勤務体系

- ・人事考課制度に基づく給与反映継続(12年目)
 - ・特別賞与制度導入2年目。
 - ・1年単位の変形労働時間制継続実施(年間労働時間1,966.5時間)
 - ・36協定締結継続
- 等により、さらなる労働環境整備とやりがいある職場づくりを進化させた。

□学校運営

① 生徒募集

令和5年度の入学者数は276名(転入生含めず)と前年比△12名という結果に終わった。2年連続での入学者数減となり、大きな危機感を覚えている。

学校訪問行事(OS、コース別体験会、入試説明会クラブ体験会、学校説明会、個別相談会)の参加者数は、1,630名(昨年度+266)、外部説明会参加者251名(対昨年度+9)といずれも前年を上回った。しかしながら、問合せに対する専願率が17%(対昨年度△2%)と減少したことにより、専願者数が240名にとどまった。

学校訪問行事等で更なる参加者を獲得することと、専願率の向上が不可欠となる。

② 生徒指導

・遅刻生徒の指導。

担任・学年・生徒指導による段階的遅刻指導をおこなった。三年生の遅刻数が昨年より微増してしまった。

・マナーや服装違反生徒の指導

「リアルタイム指導」を実施し、服装の乱れやマナー違反を見逃さず、その場で注意と記録により段階的に指導を実施した。指導数は昨年度より微減。年々服装違反の生徒が少なくなっている。

・いじめアンケート年2回実施

いじめの早期発見と防止にとどまらず、些細な事も聞き取れるよう留意し生徒サポートに努めた。

6月のアンケートで5名、9月のアンケートで3名の聞き取りをおこなった結果、問題はなかった。

・朝礼時の健康観察票の徹底・昼食時の黙食の徹底

朝の健康チェックおよび環境整備をおこない、昼食時は担任指導による黙食の徹底をおこなうことにより、感染症拡大防止に取り組んだ。

・支援を要する生徒のサポート

支援を要する生徒の情報共有およびケース会議の開催で学校生活をサポートした。

・新型コロナウイルス感染症による臨時休校・計画休校等を実施せず、計画通りの1年間となった。

② 教育の充実と学力向上

・令和4年度からの「観点別学習状況の評価」実施に向けて、各科目の評価の観点及び趣旨に基づき、評価の規準と評価の方法を定め、授業を展開した。

学習成績の評価については、「ABC評価」と「5段階評定」を職員会議にて確認した。

・新指導要領に基づくキャリア教育ではHR活動を通じて、「キャリアパスポート」の作成しながらディスカッションやグループワークに取り組み、将来を考える時間となった。

・R5年度大阪府教育課程協議会には各教科の代表が参加し、観点別学習状況の評価についての理解を深めた。

・ICTを活用した授業については、生徒(1.2年生)・教員がiPadを持ち、活用が進んでいる。配付プリントのデジタル化、小テスト等の実施、iPadを活用しての発表などが随所にみられた。

・統合型学務支援システムBLENDの導入が確定し、R5年度からの活用に向けてトライアルランを実施した。4月からの活用が可能となっている。

□施設設備の状況

所在地	施設等	面積	取得価格	帳簿価格	摘要
大阪市西淀川区千舟3-8-22	校地	13,955 m ²	193,836 千円	193,836 千円	
	校舎 6 棟等	14,611 m ²	4,014,757 千円	2,375,352 千円	

Ⅲ. 財務の概要

□令和4年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

□経年比較

①貸借対照表

(単位 千円)

項目	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
固定資産	3,397,332	3,292,552	3,181,528
流動資産	652,705	754,792	886,369
【資産合計】	4,050,036	4,047,344	4,067,896
固定負債	67,403	58,821	53,974
流動負債	191,757	172,067	171,999
【負債合計】	259,160	230,887	225,972
基本金	4,684,959	4,711,924	4,710,119
繰越収支差額	△894,083	△895,467	△868,195
【負債・純資産 合計】	4,050,036	4,047,344	4,067,896

②事業活動収支計算書

(単位 千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動収入計	750,359	825,840	821,258
教育活動支出計	753,159	805,065	799,548
(教育活動収支差額)	△2,800	20,775	21,710
教育活動外収支差額	48	14	16
(経常収支差額)	△2,752	20,789	21,726
特別収支差額	3,700	4,791	3,742
(基本金繰入前収支差額)	948	25,580	25,467
基本金組入額	△65,335	△26,965	0
(当年度収支差額)	△64,387	△1,385	25,467
(翌年度繰越収支差額)	△894,083	△895,467	△868,195